
評価基準表

（6年上）

- 評価基準表は、平成 23 年度用『小学社会』に基づき、原則として小(中)単元の小見出しの学習単位ごとに「十分満足できる子ども」「努力を要する子ども」の評価基準とそれぞれの「指導の手だて」を示しています。なお、評価規準については、弊社発行の『小学社会教師用指導書』および冊子『年間指導計画案』をご覧ください。年間指導計画案については、弊社ホームページにも掲載しております。
- 学習指導要領の「内容の取扱い」で示されている選択事例を取り上げた「せんたく」、いわゆる発展的な学習を取り上げた「大きくジャンプ」について、本教科書において配当時間を設定しておらず、したがって、本資料には評価基準を掲載していません。（3・4年上 P.96～111「工場ではたらく人びとの仕事」をのぞく）ご了承ください。

『小学社会 6年上』評価基準(案)

1 日本のあゆみ

1 大昔のくらしと国の統一

上巻導入は略

中単元の目標	小見出し	学習のねらい	評価基準と指導の手だて	
			十分満足できる子ども	努力を要する子ども
<p>○狩猟・採集や農耕の生活、古墳時代の様子について調べ、各地に支配者があられ、大和朝廷による国土の統一が進められたことを理解できるようにする。</p> <p>○狩猟・採集や農耕の生活、古墳時代における先人の働きや遺跡について関心をもち、意欲的に調べ、考えながら追究することができるようにする。</p> <p>○狩猟・採集や農耕の生活、古墳時代の様子について、地域の遺跡や博物館、郷土資料館などで調査するとともに、地図や地球儀、年表などの各種の基礎的資料を効果的に活用し、調べたことや考えたことを表現する力を育てるようにする。</p>	中単元導入	<p>◎縄文時代と弥生時代のさし絵を手がかりに、狩猟・採集から、米作りのはじまりと国が統一されていく時代についての学習問題を見出すとともに、学習計画を立てることができる。</p>	<p><思考・判断・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> ・狩猟・採集や農耕の生活について学習課題を見出し、学習計画を立てている。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・縄文時代以前の人々のくらしを予想させ、教科書P.19に示されている、旧石器時代の存在を示唆してもよい。 	<p><思考・判断・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> ・大昔の人々のくらしや社会の仕組みと米作りとの結びつきについて、気づくことが少ない。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人々の様子や建物の形などに絞って見るようにするなど、適切な助言をして、その子なりの課題をもたせるようにしていきたい。
	狩りや漁の生活	<p>◎三内丸山遺跡や縄文時代の遺跡からの出土品をもとに、狩りや漁をしていた時代の人々のくらしや社会の様子をとらえることができる。</p>	<p><知識・理解></p> <ul style="list-style-type: none"> ・集落の様子や出土品について意欲的に調べ、狩りや漁をしていた当時の人々のくらしについて理解が深められている。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・三内丸山遺跡以外の縄文時代の遺跡を提示し、縄文時代の人々のくらしについてさらに関心をもちたい。 	<p><知識・理解></p> <ul style="list-style-type: none"> ・狩りや漁をしていた人々のくらしや社会の様子をとらえにくい。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書P.6のさし絵の人々の様子に着目させたり、遺物模型に実際にふれさせたりして、当時のくらしを具体的にイメージできるように支援する。
<p>中単元の評価規準</p> <p>〔関心・意欲・態度〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・狩猟・採集や農耕の生活、古墳時代の様子に関心をもち、それらの時代の人々の働きや遺跡について、意欲的に調べ、考えながら追究している。 <p>〔思考・判断・表現〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・狩猟採集や農耕の生活、古墳時代の様子から学習問題や予想、学習計画を考え表現し、調べたことをもとに、狩猟・採集や農耕の生活や社会の様子、大和朝廷による統一の様子を考え、調べたことや考えたことを適切に表現している。 <p>〔観察・技能〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・想像図や地図、写真、その他の基礎的資料を効果的に活用して、狩猟採集や農耕の生活や古墳時代の様子を調べ、調べたことをノートや作品にまとめている。 <p>〔知識・理解〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・狩猟・採集や米作りがはじまったころの人々の生活の様子や、大和朝廷により国土が統一されていった様子をとらえている。 	遺跡を調べる	<p>◎登呂遺跡や米作りの様子を調べ、米作りがはじまったころの人々のくらしの様子や社会の変化をとらえることができる。</p>	<p><知識・理解></p> <ul style="list-style-type: none"> ・米作りのはじまったころの人々のくらしや社会の変化について理解が深められている。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・弥生時代のその他の水田遺跡を調べさせたい。登呂遺跡と比較して考えさせることで、弥生時代のくらしについての理解がより深まると考えられる。 	<p><知識・理解></p> <ul style="list-style-type: none"> ・米作りがはじまったころの人々のくらしの様子や社会の変化をとらえにくい。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書P.9とP.11の食事の写真を比べさせ、そのちがいに着目させる。米を作ることにより、食生活がさらに豊かになり、くらしが安定したこと考えさせるようにしたい。
	はげしくなる戦い	<p>◎吉野ヶ里遺跡などを調べ、小さなむらが大きくなるへと統一されていく社会の変化を考えることができる。</p>	<p><思考・判断・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> ・むらの様子や争い、くにへの変化について考えを深められている。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・吉野ヶ里遺跡や邪馬台国についてさらに詳しく調べさせると、当時の人々のくらしについての関心が高まり、理解も深まると考える。 	<p><思考・判断・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> ・小さなむらが大きくなるへと変化していくことを考えにくい。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・争いの様子に焦点を絞ったり、力のあるむらがまわりのむらを従えていく様子を絵や図に表したりして支援し、考える手がかりとさせたい。

	小見出し	学習のねらい	評価基準と指導の手だて	
			十分満足できる子ども	努力を要する子ども
	古墳を調べる	◎ナガレ山古墳や大仙古墳の様子、出土品や古墳のつくり方などから、強い力をもった豪族や王があらわれたことを考えることができる。	<思考・判断・表現> ・古墳づくりについて、意欲をもって調べ、考えが深められている。 <指導の手だて> ・二つの古墳だけでなく、自分の住む地域にある古墳やその他のさまざまな古墳や出土品にも関心を広げさせ、次時につなげていきたい。	<思考・判断・表現> ・古墳づくりについて、自分の考えを深めることができていない。 <指導の手だて> ・古墳の大きさや造成作業の様子から、このような大規模なものをつくるには、まず一般の人々では考えられないこと、大きな力をもっていないと、多くの人々を働かせることができないことなどがとらえられるように、声をかけていきたい。
	大和朝廷と渡来人のかつやく	◎大和朝廷が進んだ技術や新しい文化を伝えた渡来人との結びつきを強め、国を統一していったことをとらえることができる。	<知識・理解> ・国が統一されていく過程を十分に理解できている。 <指導の手だて> ・古墳の変遷や渡来人が伝えた技術や文化について詳しく調べ、理解を深めていってもよい。	<知識・理解> ・国が統一されていく過程を十分に理解できていない。 <指導の手だて> ・統一までの流れを図に表し、視覚的にとらえられるようにする。また、前方後円墳のもつ意味をおさえておくこともたいせつである。
	たしかめよう	◎人々のくらしや、むらからくへの変化を年表にまとめ、話し合うことにより、自分の考えを深めることができる。	<思考・判断・表現> ・年表づくりに関心を持ち、人々のくらしの変化や国の成り立ちについて分かりやすくまとめられている。 <指導の手だて> ・同じ時期の自分たちの住む地域の歴史を調べさせたり、中国・朝鮮の歴史との比較をさせたりして、さらに歴史に対する興味を高めるようにしたい。	<思考・判断・表現> ・年表づくりに関心をもてず、書くことが決まっていない。 <指導の手だて> ・時代ごとにカードをつくり、キーワードを使って整理したり、絵や写真を使ってまとめることを助言したりして、年表づくりに対する見通しをもたせ、学習に対する意欲を高めるようにしたい。

2 貴族の政治とくらし

中単元の目標	小見出し	学習のねらい	評価基準と指導の手だて	
			十分満足できる子ども	努力を要する子ども
<p>○大陸文化の摂取, 大化の改新, 大仏造営, 貴族の生活について調べ, 天皇を中心とした政治が確立されていったことや, 日本風の文化がおこったことを理解できるようにする。</p> <p>○奈良の大仏や正倉院などの文化財について関心をもち, 意欲的に調べ, 考えながら追究することができるようにする。</p> <p>○聖徳太子が政治をおこなったところから京都に都が置かれたところまでの時期の様子について, 地図や地球儀, 年表などの各種の基礎的資料を効果的に活用し, 調べたことや考えたことを表現する力を育てるようにする。</p>	中単元の導入	◎大極殿や東市のさし絵を手がかりに, 国のしくみや政治, 人々の生活から, 学習問題を見出すとともに, 学習計画を立てることができる。	<p><思考・判断・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> ・平城京の様子に興味をもち, 当時の人々の生活や政治の仕組みに対する学習課題をもつことができている。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・平城京のさらに詳しい発掘の様子や朱雀門や大極殿の復原工事について調べさせたり, 世界遺産に指定されたことなどを示して, より興味・関心を深めさせたい。 	<p><思考・判断・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> ・都の様子に対して関心が低く, 学習課題をもつことができていない。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・さし絵や地図を見るポイントを示して指導するようにする。例えば, 都の大きさの数値を示したり, 米作りがはじまったころの集落と比較したりさせる。また, 教デジなどでさし絵の拡大図を提示し, 人々の様子を観察させるなどして個別に指導・支援する。
	聖徳太子が進めた政治	◎聖徳太子の人物やおこなってきたことを調べ, 天皇を中心とした政治が整えられていく様子を考えることができる。	<p><思考・判断・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> ・聖徳太子について意欲的に調べることができ, 自分の考えを明確にしている。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当時の社会状況からこのような政策をもち出す意味まで考えさせたい。そのことによって, 聖徳太子の理想がいかに高いものであったのかが理解できると考えられる。 	<p><思考・判断・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> ・聖徳太子に対して関心が低く, 自分の考えを明確にできていない。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・既で生まれたキリストの連想, 10人の訴えを一度に聞き取ったこと, 中国の高僧の生まれ変わりなどの聖徳太子のエピソードを紹介したりするなどして関心を高め, 意欲をもって調べられるように個別に指導・支援をする。
	<p>中単元の評価規準</p> <p>【関心・意欲・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聖徳太子が政治をおこなったところから京都に都が置かれたところまでの様子に関心をもち, それらの時代の人々の働きやくらし, 文化遺産について, 意欲的に調べ, 考えながら追究している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聖徳太子が政治をおこなったところから京都に都が置かれたところまでの我が国の様子から学習問題や予想, 学習計画を考え表現し, 調べたことをもとに, 聖徳太子や藤原道長などの人物の働きや, 大仏・平城京の役割について考え, 調べたことや考えたことを適切に表現している。 <p>【観察・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・想像図や地図, 写真, その他の基礎的資料を効果的に活用して, 聖徳太子の政治や大仏造営の様子, 寝殿造などについて調べ, 調べたことをノートや作品にまとめている。 <p>【知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奈良時代に天皇を中心とした政治が確立されたこと, 大陸の文化の影響, 貴族のくらしや日本風の文化がおこったことなどをとらえている。 	奈良の大仏にこめられた願いを調べる	◎聖武天皇がつくらせた東大寺の大仏を調べ, 聖武天皇が仏教の力で国を安定させようとしたことを考えることができる。	<p><思考・判断・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> ・大仏づくりについて問題意識をもち, 追究活動が十分にできている。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・8世紀に遷都がたびたびおこなわれた理由を考えさせたり, 自分たちの地域に最も近い国分寺跡について調べさせたりして考えを深めさせたい。
	大仏づくりを支えた人々	◎大仏づくりの様子や行基の活動や役割, 農民のくらしについて調べ, 天皇中心の政治が機能していたこと, 貴族のくらしが農民によって支えられていたことをとらえることができる。	<p><知識・理解></p> <ul style="list-style-type: none"> ・大仏造営について興味をもって調べ, 天皇中心の国づくりが確立したことをとらえることができている。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書P.34～35の「世界の文化遺産を守るために」を示し, 東大寺が世界遺産に登録されていることから, 世界遺産や文化財に興味をもたせ, 奈良時代の寺院や仏像などを調べさせ, 大仏造営をめぐる時代の様子をより広く理解させるようにする。 	<p><知識・理解></p> <ul style="list-style-type: none"> ・貴族のくらしを農民たちが支えていたことについて理解できていない。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・食事の差をもとに, 貴族の生活のはなやかさと農民の生活の苦しさを対比してまとめるようにし, 農民の負担が, 貴族の豊かなくらしにつながっていたことを理解させるようにする。

	小見出し	学習のねらい	評価基準と指導の手だて	
			十分満足できる子ども	努力を要する子ども
	世界につながる文化と鑑真	◎遣唐使らによって、奈良の都に唐や西アジアなどの影響を受けた貴族文化が栄えていたことをとらえることができる。	<知識・理解> ・奈良時代の政治や文化が外国の影響を受けていることを十分理解できている。 <指導の手だて> ・東大寺正倉院の宝物についてさらに調べたり、国宝となっている奈良時代の寺院の建築や仏像について調べたりして、文化財保護のたいせつさについての理解を深めさせたい。	<知識・理解> ・外国との交流と国づくりの関係の理解が十分にできていない。 <指導の手だて> ・らくだの図柄の他にもライオンの図柄などがあることから、外国との交流をイメージさせたり、大仏づくりの様子を思い出したりして渡来人の優れた技術が必要だったことを分からせる。
	藤原道長のくらしを調べる	◎藤原道長のくらし調べから、力をもった貴族による日本風の文化がおこったことを資料などから読み取ることができる。	<観察・技能> ・貴族のくらしの様子や藤原道長について、適切に資料などを整理できている。 <指導の手だて> ・勢力を広げる藤原氏の様子や貴族の衣・食・住についてまとめさせたりするなど、自分で工夫した歴史新聞づくりに取り組ませたい。	<観察・技能> ・貴族のくらしの様子について、調べるための資料が見つけれられていない。 <指導の手だて> ・教デジのデータを用いて10円硬貨の平等院鳳凰堂と写真を比べさせて、寝殿造に気づかせ、貴族の屋敷の様子やくらしについて調べさせ、まとめさせるように指導する。
	日本風の文化が栄える	◎平安時代には貴族による日本風の文化が発達し、かな文字を使った文学で紫式部や清少納言などの女性が活躍したことを意欲的に調べている。	<関心・意欲・態度> ・紫式部や清少納言の人物および文学作品について意欲をもって調べ、日本風の文化の発達について関心が高い。 <指導の手だて> ・『竹取物語』や『伊勢物語』などを紹介したり、宇治源氏物語ミュージアムのホームページを示したりして、さらに活動の意欲を高めさせるようにさせたい。	<関心・意欲・態度> ・紫式部や清少納言の人物調べに関心が低い。 <指導の手だて> ・百人一首の歌やさし絵、歴史漫画などを見せて関心を高めたり、十二単について興味をもたせたりして、意欲をもって追究できるように個別に支援・指導する。
	たしかめよう	◎貴族の政治とくらしについて図でまとめ、話し合うことにより、自分の考えを深めることができる。	<思考・判断・表現> ・分かりやすく整理して、図にまとめることができている。 <指導の手だて> ・図を見ながら「貴族の政治とくらし」の単元を学習して分かったことを作文として文章にまとめ、次の時代の政治やくらしの様子を予想して、問題意識をもつようにする。	<思考・判断・表現> ・各時代についてまとめていくのが苦手で、自分の考えを明確にすることができない。 <指導の手だて> ・「天皇中心の政治」と「貴族の政治」を服装や食事など具体的にイメージをもちやすい例をもとに比べたりして、違いに気づくよう助言して意欲を引き出すようにする。 グループで活動する場で、今までの学習したノートを見直ししながら、書き足りないところを教室の掲示物や友だちのノートを参考にして、付け加えるよう個別にかかわって指導する。

3 武士による政治のはじまり

中単元の目標	小見出し	学習のねらい	評価基準と指導の手だて	
			十分満足できる子ども	努力を要する子ども
<p>○源平の戦い、鎌倉幕府のはじまり、元との戦い、京都の室町に幕府がおかれたころの代表的な建造物や絵画について調べ、武士による政治がはじまったことや室町文化が生まれたことを理解できるようにする。</p> <p>○源平の戦いにおける源義経の活躍の様子やエピソード、源頼朝の肖像や人物年表、エピソード、室町に幕府がおかれたころの文化について、関心をもち、意欲的に調べ、考えながら追究することができるようにする。</p>	中単元導入	◎武士の屋敷のさし絵を手がかりに、貴族にかわって武士が中心となった当時の社会や人々の生活から学習問題を見出すとともに、学習計画を立てることができる。	<p><思考・判断・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> 武士があらわれたころの様子について、自分の考えを深めることができている。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> 武士が力をもつようになったわけや、貴族の屋敷・服装、政治の進め方などを振り返ることによって、武士との比較をもとに「武士の世の中のはじまり」について、さらに理解を深めていけると考えられる。 	<p><思考・判断・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> 武士があらわれたころの様子について、自分の考えを深めることができないでいる。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> さし絵のポイントや視点を示し、個別に指導・支援する。同時代を背景とした絵本や物語、昔話などを実際に見せて、興味・関心を高めることも有効である。
<p>○武士による政治がはじまったころの様子や、新たに生まれてきた文化の特色などについて、地図や地球儀、年表などの各種の基礎的資料を効果的に活用し、調べたことや考えたことを表現する力を育てるようにする。</p>	武士の争い	◎源氏と平氏の戦いについて調べ、貴族にかわって武士たちが力をもつようになったことをとらえることができる。	<p><知識・理解></p> <ul style="list-style-type: none"> 源平の争いについて、十分に理解することができている。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> 地域に伝わる源平の戦いの伝説や史跡などを調べる具体的な活動に取り組みせたい。 もともと貴族の荘園(土地)を守る役割から生まれた武士たちが、さまざまな戦いを経て力をもち、やがて、土地所有を基盤にした武士の世の中を形成していくようになったという時代の流れを理解させ、深めさせたい。 	<p><知識・理解></p> <ul style="list-style-type: none"> 源平の争いについての理解が十分できていない。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> ポイントを絞って指導することが必要となる。 例えば、絵図を見る視点を細かく与え、想像できることを共感する。また、年表や地図で確かめながら、時代の流れや分かったことを取り上げるなど、追究活動に意欲がもてるように個別の指導・支援をおこなう。
<p>中単元の評価規準</p> <p>〔関心・意欲・態度〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 武士が力をもった経緯や武士による政治の様子、室町文化などに関心をもち、意欲的に調べ、考えながら、追究している。 <p>〔思考・判断・表現〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 源頼朝の行動や考え、元寇などから武士の社会の仕組み、この時代に生まれた新しい文化の特色について、学習問題や予想、学習計画を考え表現し、調べたことをもとに、武士による政治がはじまったことを考え、調べたことや考えたことを適切に表現している。 <p>〔観察・技能〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 武士が力をもった経緯や武士による政治の様子、室町文化などについて、社会的事象を具体的に調査するとともに、地図や地球儀、年表などの各種の基礎的資料を効果的に活用して具体的に調べ、調べた過程や結果をノートや作品にまとめている。 <p>〔知識・理解〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 源頼朝を中心にした武士が、貴族にかわって武士による政治をはじめたことや、その政治の仕組み、武士や民衆のなかから新しい文化が生まれ、広まっていったことをとらえている。 	源頼朝が鎌倉幕府を開く	◎頼朝がおこなった政治について調べ、土地を仲立ちとした「御恩と奉公」という将軍と御家人の強い結びつきがあったことをとらえることができる。	<p><知識・理解></p> <ul style="list-style-type: none"> 将軍と御家人との結びつきを十分に理解できている。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> 頼朝の死後、幕府を倒そうと朝廷が兵を集めた時の御家人の気持ちを考えさせたり、源氏の将軍が絶えた後、北条氏が幕府の実権をにぎってからも、幕府と御家人の関係は変わらず、武士の政治が全国に及んでいったことを補説したりすることにより、いっそう理解が深められると考えられる。 	<p><知識・理解></p> <ul style="list-style-type: none"> 将軍と御家人との結びつきを十分に理解できていない。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> 写真や図を手がかりにして、天然の要害地としての鎌倉を理解させ、将軍と御家人との結びつきについては、図の説明や、北条政子のうったえなどの逸話が意味するところを細かく説明して、具体的なイメージがもてるように、必要に応じて個別の指導・支援をする。

	小見出し	学習のねらい	評価基準と指導の手だて	
			十分満足できる子ども	努力を要する子ども
	元と戦う	◎元との戦いの様子を絵図や写真などをもとに調べ、この戦いが鎌倉幕府の力を弱める要因になったことをとらえることができる。	<知識・理解> ・元との戦いについて十分に理解できている。 <指導の手だて> ・幕府はなぜ、すべての武士に恩賞を与えられなかったのか、武士たちは、2回の侵攻の後どうしていたのだろうかなどを考えることにより、元との戦いが幕府に与えた影響の大きさについての理解がより深まると考えられる。九州での戦いに命をかけた武士が大勢いた事實は、幕府の力が広くゆきわたっていた証拠であることも気づかせたい。	<知識・理解> ・元との戦いについて十分に理解できていない。 <指導の手だて> ・教科書の絵図や地図・写真をもとに、なぜ日本に攻めてきたのか、幕府はどう対応したのか、戦いの様子はどうかかなどに興味や関心を引き出すように段階を追ってイメージできるように助言し、補助資料にも補足を加えながら、ともに考えるようにする。
	金閣と銀閣を調べる	◎金閣と銀閣の違いを調べることにより、足利義満と義政の時代の幕府の力や世の中の様子や変化をまとめることができる。	<観察・技能> ・室町時代の文化について意欲的に調べることができ、ノートに分かりやすくまとめている。 <指導の手だて> ・「そうたさんのノート」の中にある「わたしの考え」に関心を向けられるように支援したい。同じ室町時代でも幕府の力や将軍としての力量、それに伴う世の中の変化などが、金閣と銀閣の違いに大きくかかわっていることや、質素な造りが、民衆に引き継がれ、現在に至っていることに気づくようまとめ方について支援する。	<観察・技能> ・室町時代の文化について関心が低く、資料を活用して調べることができないでいる。 <指導の手だて> ・教科書P.45の「そうたさんのノート」を参考にして、金閣・銀閣のちがいをつかませ、どうしてこのように大きな違いがあるのかを想像させたり、東求堂の書院造の部屋と現在の和室を見比べさせたりして、追究活動への意欲をもたせるように個別の指導や支援をする。
	今に残る室町文化	◎この時代に農民や商人、職人などが力をつけるようになり、貴族や武士だけでなく、民衆の文化も向上し、現代まで受け継がれる文化が生まれてきたことを考えることができる。	<思考・判断・表現> ・室町文化について十分調べることができ室町時代に広まったさまざまな文化が現在まで受け継がれていることをとらえることができている。 <指導の手だて> ・室町文化だけでなく、鎌倉文化についても調べるようにすすめ、その力強い様子から、文化の面でも、武士の時代へ変化したことに気づくよう資料などを提供する。 また、庶民の生活までに普及した宗教などが、現代の生活にまでつながっていることを知れば、武士の世の中についての理解がいっそう深いものになるであろう。	<思考・判断・表現> ・教科書の写真や本文の説明だけでは学習の広がりをもてていない。 <指導の手だて> ・文化の具体例を教師が補説し、さらに、それらの文化の多くは、現在の生活の中にも受け継がれているということに気づかせるようにしたい。 資料集などの活用を個別に指導・支援して学習への取り組みをうながしていく。

	小見出し	学習のねらい	評価基準と指導の手だて	
			十分満足できる子ども	努力を要する子ども
	鎌倉・室町時代を生きた人々のくふうや努力	◎鎌倉・室町時代を生きた人々がどのような願いをもち、どのような努力をして暮らしを高めていたのかを調べ、当時の村や暮らしの様子についてまとめることができる。	<観察・技能> ・鎌倉・室町時代の人々の工夫や努力を資料をとおして十分に読み取っている。 <指導の手だて> ・教科書の記述や写真・絵図などだけでなく、より広く調べるよう指導し、鎌倉・室町時代に生み出された文化や暮らしの変化、力をつけた民衆の様子などが当時の時代背景の中で生まれ、しかも現在まで受け継がれているものが多いという歴史的意義について、さらに理解を深め、次時のまとめにつなげるようにしたい。	<観察・技能> ・鎌倉・室町時代の人々の工夫や努力を資料をとおして読み取ることができないでいる。 <指導の手だて> ・さし絵や絵図、写真などと本文の説明とをていねいに結びつけて確かめるような個別の支援をすれば、課題への理解が進むと思われる。 村の人々が団結する様子などは、自分ならどうするかを予想させるなどして関心を高め、理解につなげたい。
	たしかめよう	◎鎌倉・室町時代がどのような時代であったのかを図にまとめ、話し合うことにより、時代の移り変わりについて、自分の考えを明確にしたり、深めたりすることができる。	<思考・判断・表現> ・本時のねらいに対して、共通の土台づくりの時点で、教科書などを参考にしなくても人物やできごとの順序や内容がすぐに言うことができている。 <指導の手だて> ・主な人物以外の人たちのエピソードなども図に加えることで、武士の世の中についての理解や考え方がいっそう深まるように助言し、社会科の学習への意欲が増すよう指導したい。	<思考・判断・表現> ・鎌倉・室町時代がどのような時代であったのかを考え、また、どのように移り変わっていったのかについて適切に判断し、図にまとめることができないでいる。 <指導の手だて> ・共通の土台づくりとして黒板にはりつけた人物名などのカードを使い、個人の支援をする。時代の順に並べ、業績や事がらを教科書などから見つけ、どのように変化したのかを考えられるよう指導したい。

4 天下統一と江戸幕府

中単元の目標	小見出し	学習のねらい	評価基準と指導の手だて	
			十分満足できる子ども	努力を要する子ども
<p>○キリスト教の伝来，織田・豊臣の天下統一，徳川の江戸幕府の始まり，参勤交代，鎖国について調べ，戦国の世が統一され，武士による政治が安定したことを理解できるようにする。</p> <p>○織田信長・豊臣秀吉・徳川家康などの人物や，戦国の世が統一されていくころの様子について関心をもち，意欲的に調べ，考えながら追究することができるようにする。</p> <p>○織田信長・豊臣秀吉・徳川家康の業績や当時の様子について，地図や地球儀，年表などの各種の基礎的資料を効果的に活用し，調べたことや考えたことを表現する力を育てるようにする。</p>	中単元の導入	◎長篠の戦いの絵図を手がかりに，武士の対立から天下を統一した人物についての学習問題を見出すとともに，学習計画を立てることができる。	<p><思考・判断・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦国の世に活躍した信長・秀吉・家康について関心をもち，学習課題をつかむことができている。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄砲や鉄砲隊についてさらに詳しく調べさせたい。鉄砲隊の編成を進めた織田信長が，長篠の戦いでその威力を遺憾なく示し，戦法や家臣団編成などに大変革をもたらしたことに対する理解が，より深まると考えられる。 	<p><思考・判断・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> ・武士の対立から天下を統一した人物の働きに対して関心が低く，学習課題をつかむことができている。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポイントを絞って指導をおこなうことが考えられる。例えば，信長・秀吉・家康の「落首」から人柄や業績を想像したり，調べたりすることをうながすなど，3人の人格，戦い方などの特色をとらえながら，意欲をもって追究活動に取り組めるよう個別に指導・支援する。
<p>中単元の評価基準</p> <p>〔関心・意欲・態度〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦国時代の様子や，戦国の世に活躍した織田信長・豊臣秀吉・徳川家康について関心をもち，意欲的に調べ，考えながら追究している。 <p>〔思考・判断・表現〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・織田信長・豊臣秀吉や徳川家康の働きについて学習問題や予想，学習計画を考え表現し，調べたことをもとに，天下統一の事業が，多くの大名や農民をおさえて進められていったことを考え，調べたことや考えたことを適切に表現している。 	新しい時代を切りひらいた織田信長	◎織田信長の人物調べを通して，短いあいだに信長が天下を統一していく様子を分かりやすくまとめることができる。	<p><観察・技能></p> <ul style="list-style-type: none"> ・織田信長の人物像や働きについて意欲的に調べ，調べた過程や結果を分かりやすく，ノートにまとめることができている。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書P. 68～69の「ポルトガル語が日本語に」を示し，安土・桃山時代の貿易について考えさせたい。南蛮貿易によって，ヨーロッパの医学・天文学・印刷技術などが伝えられただけでなく，ポルトガル語が日本語になった安土・桃山時代への興味・関心が深まると考えられる。 	<p><観察・技能></p> <ul style="list-style-type: none"> ・織田信長の人物像や働きについて調べたり，調べた過程や結果をノートにまとめることができないでいる。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポイントを絞って指導をおこなうことが考えられる。例えば，教科書P. 55「安土のようす」の絵図の中に描かれているものを自由に出すことにより，意欲をもって追究活動に取り組めるよう個別に指導・支援する。
<p>〔観察・技能〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵図や文書資料，その他の基礎的資料を効果的に活用して，織田信長・豊臣秀吉や徳川家康の業績や戦国時代の様子を調べ，調べたことをノートや作品にまとめている。 <p>〔知識・理解〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キリスト教の伝来，織田・豊臣の天下統一，江戸幕府の始まり，参勤交代や鎖国などの政策がおこなわれたこと，戦国の世が統一されたことをとらえている。 	豊臣秀吉の天下統一	◎豊臣秀吉の人物調べから，検地や刀狩を通じた身分制の確立により，武士の新しい支配体制が固められたことをとらえることができる。	<p><知識・理解></p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊臣秀吉が大名を従え，織田信長の天下統一事業を引き継いだことをとらえることができている。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・年貢を納める際の「枀の大きさの統一」など，検地や刀狩についてさらに詳しく調べさせたい。そして，支配される立場と対比させることで，検地や刀狩の実施により，兵農分離，税制の確立がおこなわれ，後の幕藩体制の基礎をつくったことに対する理解がより深まると考えられる。 	<p><知識・理解></p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊臣秀吉の人物像や働きについて十分に理解できていない。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「検地のようす」や「刀狩のようす」の絵図に登場している人物に吹き出しをつけてその思いを想像させたり，秀吉にまつわるエピソードを聞かせたりするなど，意欲をもって追究活動に取り組めるよう，個別に指導・支援したい。

	小見出し	学習のねらい	評価基準と指導の手だて	
			十分満足できる子ども	努力を要する子ども
	秀吉の朝鮮出兵と徳川家康	◎秀吉の朝鮮出兵が国の内外に与えた影響や、秀吉の死後に徳川家康に天下が移っていくことを考えることができる。	<思考・判断・表現> ・秀吉の朝鮮出兵が国内外に与えた影響や、秀吉の死後に、徳川家康に天下が移っていくことを意欲的に調べ、考えることができている。 <指導の手だて> ・徳川家康が西軍を破った「関ヶ原の戦い」や豊臣氏を滅ぼした「大阪夏の陣・冬の陣」などを調べさせたい。また、年表などを活用して、家康が、天下統一の計画を着々と実現していく過程を整理させるようにしてもよい。	<思考・判断・表現> ・秀吉の朝鮮出兵が国内外に与えた影響について考えることができないでいる。 <指導の手だて> ・出兵にまつわるエピソードの紹介（加藤清正のトラ退治など）やインターネットを使った博物館の紹介（佐賀県立名護屋城博物館）などをおこない、関心を高めるよう個別に指導・支援する。
	厳しい大名支配	◎大名の配置、武家諸法度などについて調べ、江戸幕府が大名支配を強めていったことに関心を深めることができる。	<関心・意欲・態度> ・大名の配置から、幕府の大名支配の意図などを意欲的に調べることができている。 <指導の手だて> ・自分たちの住む地域にあった藩の歴史や、興味をもった藩の特徴などについて、図書館の本や郷土資料館などで調べることができるようにしたい。	<関心・意欲・態度> ・大名の配置の仕方から、幕府の大名支配について意欲的に調べることができないでいる。 <指導の手だて> ・島津・細川・伊達などの位置を個別に見させ、中心となる江戸からの距離に着目するようにうながすようにしたい。
	キリスト教の禁止と鎖国	◎島原・天草の一揆や、キリスト教の禁止、鎖国の理由について調べ、鎖国下での貿易の様子についてとらえることができる。	<知識・理解> ・鎖国をおこない、キリスト教を禁止した理由や、鎖国下での外国とのつながりについて十分理解できている。 <指導の手だて> ・鎖国をおこなう前には、東南アジアの各地に日本町がつくられるほど、日本人が外国で活躍していたことを資料などで提示し、それらの人々が、鎖国によってどうなったのかを調べる活動も考えられる。	<知識・理解> ・なぜ幕府は鎖国をしてまでキリスト教を禁止したのかをとらえることをできないでいる。 <指導の手だて> ・「キリスト教信者対将軍」というような寸劇の台本をつくり、それぞれの立場や気持ちをセリフの形で言わせてみるという方法が考えられる。教え込まれたという認識なしに理解の定着が図れると思われる。

	小見出し	学習のねらい	評価基準と指導の手だて	
			十分満足できる子ども	努力を要する子ども
	鎖国のもとの外国との交流	◎鎖国政策のもとの外国との交流の様子を、各地に残る行事などを調べ、まとめることができる。	<観察・技能> ・鎖国下での外国との交流について、各地に残る行事などを積極的に調べ、十分にまとめることができている。 <指導の手だて> ・教科書P. 68～69の「ポルトガル語が日本語に」を提示し、自分たちが使っている言葉には、もとは外国語であったものがたくさん含まれていることに気づかせ、より深い追究をさせるようにしたい。	<観察・技能> ・鎖国下での外国との交流について、資料を活用して調べることができないでいる。 <指導の手だて> ・調べる対象とする国を1か国だけにしたたり、興味をもった具体的な項目を上げさせ、その点に絞って調べさせたりすることも考えられる。
	たしかめよう	◎天下統一から江戸幕府の始まりについて学習したことを歴史新聞にまとめて話し合うことにより、自分の考えを深めることができる。	<思考・判断・表現> ・天下統一から江戸幕府の人物やできごとについて、自分の考えを十分に示す歴史新聞をつくることができている。 <指導の手だて> ・その他の時代からも記事の対象となる人物やできごとを選ばせ、第2号、第3号というように、号数を重ねさせるようにしてもよい。	<思考・判断・表現> ・天下統一から江戸幕府の人物やできごとについて、自分の考えを明確にもてないでいる。 <指導の手だて> ・人物を調べる対象とした場合には、興味をもちそうなエピソードを紹介したり、できごとを調べる対象とした場合には、そのできごとと現在とのつながりやそれが起きた現在の場所を示したりして、興味を高めるようにしたい。

5 江戸時代を生きた人々

中単元の目標	小見出し	学習のねらい	評価基準と指導の手だて	
			十分満足できる子ども	努力を要する子ども
<p>○身分制度や人々のくらしの様子、歌舞伎や浮世絵、国学や蘭学について調べ、身分制度が確立し、町人の文化が栄え、新しい学問がおこったことを理解できるようにする。</p> <p>○身分のきまりと人々の願い、近松門左衛門などが活躍した町人の文化、杉田玄白などが学んだ新しい学問について、関心をもち、意欲的に調べ、考えながら追究することができるようにする。</p> <p>○身分制度、歌舞伎や浮世絵を楽しむ人々、学問に取り組んだ人々の業績について、地図や地球儀、年表などの各種の基礎的資料を活用し、調べたことや考えたことを適切に表現する力を育てるようにする。</p>	中単元の導入	◎江戸の町の絵図を手がかりに、人々のくらしの様子について関心を深めている。	<p><関心・意欲・態度></p> <ul style="list-style-type: none"> 江戸図屏風から江戸の町や人々の様子に関心をもち、意欲的に調べようとしている。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> 屏風絵中の朝鮮通信使の向かう先にあるものについて予想を立て、ゆいの吹き出しの内容を手がかりに屏風図全体を想起させた上で、インターネットや図録で屏風図全図を観察し、さらに江戸の町の人々のくらしについて意欲的に調べられるようにする。 	<p><関心・意欲・態度></p> <ul style="list-style-type: none"> 江戸図屏風から江戸の町や人々の様子に関心をもち、学習意欲を高めることができないでいる。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> 教デジを用意し、屏風絵の人々の服装や種類について、絵図を拡大して観察することで意欲的にさまざまな事を見つけれられるようにする。その際に、観察して見つけたことをいくつ見つけられたかなどの意欲づけをし、ノートやワークシートに記載していくことで高まると考えられる。
<p>中単元の評価規準</p> <p>〔関心・意欲・態度〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 身分のきまりや人々のくらしの様子、歌舞伎や浮世絵、国学や蘭学について関心をもち、意欲的に調べ、考えながら追究している。 <p>〔思考・判断・表現〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 身分や人々のくらしの様子、歌舞伎や浮世絵、国学や蘭学について、学習問題や予想、学習計画を考え表現し、調べたことをもとに、身分制度が確立し武士による政治が安定したことや、町人の文化が栄え、新しい学問がおこったことを考え、調べたことや考えたことを適切に表現している。 <p>〔観察・技能〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 図書館の資料や基礎的資料などを効果的に活用して、身分のきまりや人々のくらしの様子、歌舞伎や浮世絵、国学や蘭学を調べ、調べたことをノートや作品にまとめている。 <p>〔知識・理解〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 身分のきまりや人々のくらしの様子、歌舞伎や浮世絵、国学や蘭学について調べ、身分制度が確立し、武士による政治が安定したこと、町人の文化が栄え、新しい学問がおこったことをとらえている。 	それぞれの身分とくらし	◎幕府や藩は、武士による支配体制を維持・強化していくために、秀吉の身分のきまりをもとに、いっそうの身分の固定化を図ったことを考えることができる。	<p><思考・判断・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> 人々の身分が違うことに問題意識をもち、自分の考えを明確にすることができている。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> 次時の活動に生かすことのできる農民のくらしに視点をあてて考えさせる。特に、厳しい制約の中、どのようにして生き抜くかについて予想を立てておきたい。 	<p><思考・判断・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書の記述から、身分によるくらしの内容が読み取ることができないでいる。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> 板書などで図解して整理させるとよい。農民や町人からも差別されてきた人々ほど、つらい思いをしながら社会を支えていることをつかむように支援する。
	江戸時代を生きた人々のくふうや努力	◎江戸時代の農民や町人は、どのような願いをもち、どのような努力をして、くらしを高めていったのかを調べ、当時のくらしの様子に関心をもちつことができる。	<p><関心・意欲・態度></p> <ul style="list-style-type: none"> 江戸時代の人々の工夫や努力について、関心をもち、意欲的に調べることができている。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> 供給側の農村と消費側の大都市（江戸など）の関係について考えをまとめるようにながす。その間にある商品流通の発達にも目を向け、多様な商品の流通によるくらしの発展に気づくようにしたい。 また、教科書P.85「江戸時代のリサイクルは？」を提示し、江戸時代の人々の生活に根づいていたリサイクルの仕組みに興味をもたせるようにしてもよい。 	<p><関心・意欲・態度></p> <ul style="list-style-type: none"> 農民のくらしや、人々の工夫や努力について関心が高まらないでいる。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> 千歯こきを発明したことにより、それまでの「こき箸」の10倍も能率が上がったことを知らせ、農作業の効率化による時間の短縮に関心をもちさせる。その上で他の工夫や努力についても調べる意欲をもたせるようにする。

	小見出し	学習のねらい	評価基準と指導の手だて	
			十分満足できる子ども	努力を要する子ども
	力をつける町人	◎江戸時代の商人が、流通経路の整備や販売方法の工夫などで巨額の富を得ることで、力をつけることをとらえることができる。	<思考・判断・表現> ・江戸時代の商人が力をつけてきたことについて、十分にとらえることができている。 <指導の手だて> ・「高島屋」「三越」「大丸」「そごう」などを調べることによって、今に残る百貨店のルートを探ることができ、さらに意欲的に調べることが期待できる。	<思考・判断・表現> ・江戸時代の商人が力をつけてきたことについて、とらえることができないでいる。 <指導の手だて> ・絵図「江戸の呉服屋」を観察する際に、百貨店大手の「三越」の包装紙を見せるなどして話をするとよい。子どもたちにとって身近に感じられ、学習の意欲づけとなる。
	近松門左衛門のはたらきを調べる	◎近松門左衛門の人物調べから、歌舞伎や人形芝居、浮世絵などに関心を持ち、町人文化が栄えたことについて調べることができる。	<関心・意欲・態度> ・近松門左衛門や浮世絵について、関心が高く、調べる意欲がある。 <指導の手だて> ・作品を紹介し、読み味を合わせるなどして、その感想を他の子どもたちに伝えさせるなどの活動が考えられる。	<関心・意欲・態度> ・江戸時代の町人が築いてきた文化について、関心が低い。 <指導の手だて> ・「今の娯楽」と関連させてイメージをふくらませるようにするとよい。
	国学の広がりとおこった子どもの教育	◎新しくおこった国学や寺子屋について調べ、社会に果たした役割について意欲的に調べることができる。	<関心・意欲・態度> ・新しくおこった国学や寺子屋が、どのようなものであったのかを、意欲的に調べようとしている。 <指導の手だて> ・幕府の勤める儒学と本居宣長の国学との相違点を教科書P.80から見つけ出し、国学の発展が幕府の支配にどのような影響を与えたのかについて考えることで、江戸末期から明治維新への動きを予想するきっかけとなるよう指導したい。	<関心・意欲・態度> ・新しくおこった国学や寺子屋がどのようなものであったのかを、意欲的に調べることができないでいる。 <指導の手だて> ・寺子屋の様子や学習内容から、現代の小学校の様子や内容と比較することで、寺子屋を含めた江戸時代の学問により身近に取り組めるように指導したい。

	小見出し	学習のねらい	評価基準と指導の手だて	
			十分満足できる子ども	努力を要する子ども
	蘭学のはじまり	◎杉田玄白や伊能忠敬について調べ、蘭学が社会に果たした役割についてとらえている。	<知識・理解> ・新しい学問である蘭学についての知識・理解が十分である。 <指導の手だて> ・本時で扱った人物以外に活躍した人について、調べる活動をうながす。また、蘭学を学んだ多くの人々が、どのような考えをもつようになるのか予想し、自分の意見をもつように指導したい。	<知識・理解> ・新しい学問である蘭学が、どのようなものであったのかを理解できないでいる。 <指導の手だて> ・初めて見るオランダ語の本を何とかして読みたい、知りたいという当時の人々と思いが共感できるような事例をあげて、興味・関心を高め、追究活動を支援する。伊能忠敬の地図や探検のエピソードを取り上げるのもよい。
	たしかめよう	◎身分と人々のくらしや町人文化、新しい学問について図にまとめ、話し合うことにより、自分の考えを明確にし、深めることができる。	<思考・判断・表現> ・身分と人々のくらしや町人文化、新しい学問について、自分の考えを十分にまとめることができている。 <指導の手だて> ・ワークシートの図式化を参考にして、ノートに自分で考えた方法で書き表す活動をうながす。書き表せたノートの中から、たくさんの工夫が見つかることと思われる。その場で紹介したり、ノートをコピーしてはり出したりして意欲を高めていきたい。	<思考・判断・表現> ・身分と人々のくらしや町人文化、新しい学問について、自分の考えを明確にすることができないでいる。 <指導の手だて> ・予め記載しやすいようにワークシートを用意し、教科書の図を参考に書き表せるようにすることで、学習に取り組みやすくする。

6 明治維新から世界のなかの日本へ

中単元の目標	小見出し	学習のねらい	評価基準と指導の手だて	
			十分満足できる子ども	努力を要する子ども
<p>○幕末から明治維新につながる世の中の動きや、新しい文化や外国との関係の変化、産業の発達と日清・日露戦争での勝利などについて調べ、世界のなかの日本として近代化が進められたことを理解できるようにする。</p> <p>○幕末から明治時代にかけての大久保利通や板垣退助などの近代化に努めた人々の働きや、政治や社会の仕組みの変化などについて、関心をもち、意欲的に調べ、考えながら追究することができるようにする。</p> <p>○幕末から明治時代にかけての近代化の進展について、地図や地球儀、年表などの各種の基礎的資料を活用し、調べたことや考えたことを適切に表現する力を育てるようにする。</p>	中単元の導入	◎黒船来航の絵図を手がかりに、外国との関係や国内の動きについて、学習課題を見出すとともに、学習計画を立てることができる。	<p><思考・判断・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> 黒船来航について関心をもち、調べたいことを十分に考えて、高い学習意欲をもちながら学習計画を立てることができる。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書P.111「ペリーのふるさとアメリカ」を提示し、アメリカの歴史の概略をつかみ、日本へ開国を迫った背景に気づくようにしたい。 	<p><思考・判断・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> 黒船来航の絵図から、日本と外国との関係や国内の動きをとらえることができないでいる。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> 絵図の中で最も印象深い動きをしている人をあげ、その人がどんなことを思っているのかを自分なりに想像し、そこから黒船来航の意義に気づくよう指導したい。
	黒船の来航と鎖国の終わり	◎世の中が大きく変わるきっかけになった黒船来航に関心をもち、鎖国を終わらせざるえなかったことについて調べることができる。	<p><関心・意欲・態度></p> <ul style="list-style-type: none"> 黒船来航の意義や鎖国の終わり、不平等条約の締結までの経緯とその後の変化の予測など、十分な学習を意欲的に進めることができる。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> 黒船来航から開国までに登場する人物から一人を選び、その人物の働きやエピソードなどを調べるよう指導したい。 	<p><関心・意欲・態度></p> <ul style="list-style-type: none"> 黒船来航について関心をもち、学習意欲を高めることができないでいる。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> ペリーの遠征記などの資料（研究編P.143「ペリーの予言」など）で、ペリーの側から見た日本の姿を提示し、視点を定めることで、関心をもち、意欲的に調べるよう指導したい。
<p>中単元の評価基準</p>				
<p>【関心・意欲・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本の近代化の進展と近代化に努めた人々の働きや、外国との関係の変化などについて関心をもち、意欲的に調べ、考えながら追究している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本の近代化の進展や政治・社会の仕組みの変化などについて、学習問題や予想、学習計画を考え表現し、調べたことをもとに、日本の近代化の進展や政治・社会の仕組みの変化などについて考え、調べたことや考えたことを適切に表現している。 <p>【観察・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本の近代化の進展や近代化に努めた人々の働きなどについて、資料や年表などの各種の基礎的資料を活用して調べ、調べたことをノートや作品にまとめている。 <p>【知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本の近代化が進められた過程やそれともなう政治や社会の仕組みの変化、産業の発達と外国との関係の変化などをとらえている。 	幕府の政治の終わり	◎幕府や藩の政治の失敗や、物価の上昇に対する民衆の不满を背景にして、天皇中心の国家をつくる運動が武士の世の中を終わらせたことを考えることができる。	<p><思考・判断・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> 開国から倒幕までの日本の状況に高い関心をもち、自分なりの考えをしっかりとつとめることができる。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> 江戸幕府の立場から幕末を見て、どのようにすれば倒幕されなかったかを考えさせるを通して、いろいろな立場の人が歴史を動かしていることに気づくことができるようにしたい。 	<p><思考・判断・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> 開国から倒幕までの日本の状況に関心をもち、自分なりの考えをもち、意欲的に調べることができないでいる。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> 幕末に活躍した人物の中で好きな人物を選ばせ、その人物の業績などを調べるを通して、幕末の日本についての関心を高めるようにしたい。
	新政府の新しい国づくり①	◎明治政府が進めた改革の内容に関心をもち、四民平等とされながらも、身分の違いが別の形で残されたことを調べることができる。	<p><関心・意欲・態度></p> <ul style="list-style-type: none"> 明治維新で活躍した人物に関心をもち、十分意欲的に諸改革の内容を調べることができる。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> 欧米列強によるアジアの植民地化が進んでいた世界の情勢を調べさせ、日本が近代化を急速におこなわなければならなかった背景に気づかせるようにしたい。 	<p><関心・意欲・態度></p> <ul style="list-style-type: none"> 明治維新で活躍した人物に対して興味をもち、意欲的に調べることができないでいる。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> 人物の「顔」に焦点を当て、目や耳の特徴、顔つきなどで気づいたことをあげることから関心を高めるようにしたい。

	小見出し	学習のねらい	評価基準と指導の手だて	
			十分満足できる子ども	努力を要する子ども
	豊かで強い国をめざして	◎徴兵令や地租改正など富国強兵策について、明治政府がそれらの政策を推し進めていった理由や、国民生活に与えた影響について考えることができる。	<思考・判断・表現> ・明治政府がおこなった富国強兵政策の内容や理由、国民生活への影響や文明開化の広がりなどについて、自分の考えをもつことができている。 <指導の手だて> ・これから後の明治政府が、どのような政策をおこなうと思うか予想し、次時以降の学習とつなげるようにしたい。	<思考・判断・表現> ・明治政府がおこなった政策や、政策の国民生活への影響について、自分の考えをもてないでいる。 <指導の手だて> ・自分が明治時代の役人であれば、どのような政策をおこなうかを、理由も含めて考えるようにし、関心を高めるようにしたい。
	板垣退助と伊藤博文を調べる	◎人物調べを通して、自由民権運動がおこった社会的背景や、明治政府が国会開設を約束した経緯や当時の世相などについて考えることができる。	<思考・判断・表現> ・板垣退助と伊藤博文の人物調べを通して、自由民権運動の広がりについて、十分にとらえることができている。 <指導の手だて> ・西南戦争や地租改正一揆のように、政府の改革に反対しておこされた反乱について調べ、反乱をおこした人々の気持ちを考えるようにしたい。	<思考・判断・表現> ・板垣退助や伊藤博文にあまり関心をもてず、人物調べを通じた自由民権運動について、十分にとらえることができないでいる。 <指導の手だて> ・自分は政府と国民のどちらの立場に立ちたいかを考え、その立場から、どのようなことを主張するかをまとめるようにしたい。それをきっかけとして、二人の具体的な行動を調べる意欲を高めたい。
	憲法の発布と国会の開設	◎明治政府が発足後20年ほどで憲法を制定し、立憲政治を確立したことや、国民の政治参加の面では、不十分であったことをとらえることができる。	<知識・理解> ・憲法制定と議会開設の意義や、大日本帝国憲法の性質を十分理解できている。 <指導の手だて> ・現在の政治の仕組みについて、その概略を調べさせ、明治時代の政治の仕組みとの違いを、主権がだれにあるかを主眼として比較するようにしてもよい。	<知識・理解> ・憲法制定と議会開設の意義や、大日本帝国憲法の性質を理解できていない。 <指導の手だて> ・憲法のたいせつさを、スポーツのルールを例にして理解できるようにすることも考えられる。例えば、ルールがなければ、スポーツができなくなることから、憲法の必要性和十分な内容の検討をするたいせつさに気づくようにしたい。

	小見出し	学習のねらい	評価基準と指導の手だて	
			十分満足できる子ども	努力を要する子ども
	不平等な条約を改正する	◎日本の近代化を調べ、年表にまとめることで、政府が条約改正に努め、欧米諸国との対等な関係の構築に努力したことを読み取ることができる。	<観察・技能> ・不平等条約の改正と日本の近代化のあゆみを意欲的に調べ、分かりやすく年表にまとめて、その経過や内容をとらえることができている。 <指導の手だて> ・ロシア・中国と日本のこれまでの関係について整理することに取り組みせたい。教科書や図書資料を活用して既習事項を振り返り、次時の学習の関心につなげる。	<観察・技能> ・不平等条約の改正や日本の近代化のあゆみを意欲的に調べ、年表にまとめることができないでいる。 <指導の手だて> ・ポイントを絞ってまとめさせる指導をおこなうことが考えられる。例えば、条約改正のみに絞った資料を提示したり、できごとを表記しておき、年代を記述させたりして個別に指導・支援する。
	中国・ロシアと戦う	◎日清・日露戦争について調べ、これらの戦争の結果、日本の国際的地位は向上し、朝鮮半島に勢力を拡大したことをとらえることができる。	<知識・理解> ・日清・日露戦争の様子について詳しく調べ、日本の国際的地位向上と勢力拡大について十分理解できている。 <指導の手だて> ・日露戦争後に結ばれた「ポーツマス条約」を詳しく調べることに取り組みせたい。アメリカの存在などに目をむけ、当時の日本とアジアの様子の理解がより深まると考えられる。	<知識・理解> ・日清・日露戦争の様子について、十分理解できていない。 <指導の手だて> ・様子をつかみやすい資料の提示をする。例えば、風刺画で当時のアジアの様子をとらえさせたり、教科書P.103の資料「日清戦争と日露戦争のひかく」から具体的な数値を読み取らせたりすると効果的である。
	日露戦争後の朝鮮 日露戦争後の世界のようす	◎韓国を併合した前後の日本の政策や朝鮮の人々の様子を調べ、朝鮮の人々の怒りや苦しみ、悲しみを考えることができる。	<思考・判断・表現> ・日本のおこなった植民地政策を的確にとらえ、朝鮮の人々の怒りや苦しみ・悲しみについて考えることができている。 <指導の手だて> ・研究編P.161の資料「抵抗運動と伊藤博文」を紹介する。 おこった事件を詳しく調べることで、当時の日本と朝鮮との関係や、朝鮮の人々の心情の理解がより深まると考えられる。	<思考・判断・表現> ・韓国を併合した日本の政策に問題意識をもちにくく、朝鮮の人々の怒りや苦しみ・悲しみについて考えがおよびにくい。 <指導の手だて> ・当時の様子の劇化などを取り入れ、朝鮮の人々の立場に立ち、心の傷の深さに気づくようにしていくとよい。

	小見出し	学習のねらい	評価基準と指導の手だて	
			十分満足できる子ども	努力を要する子ども
	近代産業の発達 世界でかつやくする日本の人々	◎産業の発達とともに、働く人や公害の問題がおきたことや、世界で活躍した人々が出た背景に関心を高めることができる。	<関心・意欲・態度> ・日本の産業の発達やそれに伴う社会の変化、世界で活躍した人々について、意欲をもって調べることができている。 <指導の手だて> ・「足尾銅山鉱毒事件」の資料や、田中正造の伝記などを紹介し、重工業の発達と公害問題について考えさせる学習に取り組ませたい。それによって、「環境」に対する問題意識を醸成できると考えられる。	<関心・意欲・態度> ・産業の発達や社会の様子、世界で活躍した人々に対して、関心が低い。 <指導の手だて> ・写真に写っている女性労働者の気持ちを想像したり、世界で活躍した人々の伝記を補助資料として読んだりすることをうながして、調べる意欲を高めるよう支援する。
	明治・大正時代を生きた人々	◎当時の社会運動について調べ、当時の人々がどのような願いをもち、どのように努めていたのかなどに関心を高めることができる。	<関心・意欲・態度> ・当時の社会運動の様子に興味・関心を示し、人々の願いや努力について意欲をもって調べている。 <指導の手だて> ・第一次世界大戦と国民生活の関係など、社会運動の高まりの原因を調べることに取り組ませたい。そのことで、当時の社会背景に対する理解がより深まると考えられる。	<関心・意欲・態度> ・明治・大正時代を生きた人々の願いや努力に関心が低い。 <指導の手だて> ・当時の社会の様子をとらえやすい補助資料を提示する。例えば、女性の新しい職業について詳しく調べたり、「関東大震災」の被害を数字から読み取ったりすることをうながし、意欲をもって調べ活動に取り組めるよう個別に指導・支援する。
	たしかめよう	◎幕末から明治・大正時代について学習したことを図にまとめ、話し合うことにより、自分の考えを明確にしたり、深めたりすることができる。	<思考・判断・表現> ・幕末から明治・大正時代の主なできごとの理由や目的、結果などを意欲的に調べ、日本の近代化へのあゆみについて進んで考えることができている。 <指導の手だて> ・現在の社会のしくみにつながっているものや、逆に現在のしくみと異なるものについて考えるようにして、この後日本がどのようなあゆみをしていくのか、予想できるようにする。	<思考・判断・表現> ・幕末から明治・大正時代の主なできごとの理由や目的、結果などを調べることが難しく、日本の近代化へのあゆみについて考えがおよびにくい。 <指導の手だて> ・調べ活動を進めるグルーピングに配慮し、友だちと協力しながら考えていけるよう、指導・支援する。

7 アジア・太平洋に広がる戦争

中単元の目標	小見出し	学習のねらい	評価基準と指導の手だて	
			十分満足できる子ども	努力を要する子ども
<p>○日本と中国との戦いが全面化したこと、アジア・太平洋地域において連合国と戦って敗れたことについて調べ、日本が戦時体制に移行し、国民が大きな被害を受けたこと、アジア・太平洋地域に大きな損害を与えたことを理解できるようにする。</p> <p>○戦争のはじまりや戦場の広がり、各地への空襲、沖縄戦、広島・長崎への原爆投下、戦時下の国民の暮らしについて関心をもち、意欲的に調べ、考えながら追究することができるようにする。</p> <p>○戦争の経過や戦場の広がり、戦時下の人々の様子について、地域の資料館の見学や戦争体験者からの聞き取り活動などの調査や、地図や地球儀、年表などの各種の基礎的資料を活用し、調べたことや考えたことを適切に表現する力を育てることができる。</p>	中単元の導入	◎二つの地図資料を比べることにより、戦争へと突き進んでいった当時の日本の様子から学習問題を見出すとともに、学習計画を立てることができる。	<p><思考・判断・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> 戦争や当時の日本の様子に関心をもち、自分の考えを明確にできている。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> 世界でおきていた植民地化の地図資料を見せたり、世界恐慌による諸外国への影響について調べさせたりすることにより、当時の世界の状況を理解し、大規模な戦争がおきた経緯や原因について考えることができるようにしたい。 	<p><思考・判断・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> 戦争や当時の日本の様子に関心をもち、自分の考えを明確にできないでいる。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> 不景気で食べるものがなかったらどのようなことに困るのかを具体的に考えるように促すことで、これから追究していこうという活動意欲をもつことができるようにしたい。
	<p>孤立する日本、混乱する国内</p>	◎1930年当時の日本の様子から、日本が満州事変に至った経緯と理由をとらえることができる。	<p><知識・理解></p> <ul style="list-style-type: none"> 満州事変がおこった理由や経緯を十分理解できている。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> 国際連盟が送った調査団や国内でおきた二つの事件をインターネットや図書資料などを通して調べることにより、日本が国際社会の中で孤立していった経緯をより深く理解することができるようにする。 	<p><知識・理解></p> <ul style="list-style-type: none"> 満州事変がおこった理由や経緯をとらえることができないでいる。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> 日本は、国土も小さく資源も少ないことを、5年生の社会科学学習から想起するようにうながし、そのことから、土地や資源を大陸に求めていたことを理解できるように個別に支援する。
中単元の評価規準				
<p>〔関心・意欲・態度〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 戦争や戦場の広がり、戦時下の人々の暮らしに関心をもち、意欲的に調べ、考えながら追究している。 <p>〔思考・判断・表現〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本と中国との戦いが全面化したことや、太平洋の地域へと戦争が広がっていったことについて、学習問題や予想、学習計画を考え表現し、調べたことをもとにそれらの原因と背景や、これらの戦争が国民やアジア・太平洋地域の人々に大きな影響を与えたことを考え、調べたことや考えたことを適切に表現している。 <p>〔観察・技能〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 戦争や人々の暮らしの様子などについて、地域の資料館の見学や戦争体験者からの聞き取り活動、地図や地球儀、年表などの各種の基礎的資料を活用して調べたことや考えたことをノートや作品にまとめている。 <p>〔知識・理解〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 戦争に至った背景、戦争が拡大していく経緯と、その戦争によって、国民が大きな被害を受けたことやアジア・太平洋地域の人々に大きな損害を与えたことをとらえている。 	長引く中国との戦争 アジアや太平洋に広がる戦場	◎地図や写真などから、戦場が中国から太平洋の地域へと拡大していった様子や、アジア・太平洋地域の人々に大きな損害を与えたことをとらえることができる。	<p><知識・理解></p> <ul style="list-style-type: none"> 戦争が、日中戦争からアジア・太平洋戦争へと拡大されていった様子を十分に理解できている。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> 日本軍が中国やアジアを侵略していく様子や、現地の人々に関する記録を調べることを通して、人々の気持ちをより実感としてとらえることができるようにする。 	<p><知識・理解></p> <ul style="list-style-type: none"> 戦争が、日中戦争からアジア・太平洋戦争へと拡大されていった様子を理解できないでいる。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書P.117の地図資料の日本軍の主な進路や主な戦場を色鉛筆などで塗らせ、視覚にうったえることで、広がっていく様子をとらえることができるようにする。
	戦争で大きく変わった人々の暮らし	◎戦時中の人々の暮らしについて調べ、戦争が暮らしにも大きな影響を与えていたことや、当時の人々の気持ちについて考えることができる。	<p><思考・判断・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> 当時の暮らしの様子や人々の気持ちについて考えることができている。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> 人々の暮らしをさらに調べるように指導したい。灯火管制や町の防火訓練、防空壕へ避難する防空演習、建物疎開などをインターネットや図書資料などでさらに詳しく調べることで、当時の人々の気持ちをより深く考えることができるようにしたい。 	<p><思考・判断・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> 当時の暮らしの様子や人々の気持ちを考えることができていない。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の今の生活と比べて大きく違うところに着目させるようにし、自分にあてはめて考えるように声かけする。

	小見出し	学習のねらい	評価基準と指導の手だて	
			十分満足できる子ども	努力を要する子ども
	戦争と子どもや女性たち、戦争体験者に聞き取りをする	◎写真や戦争体験者の話から、戦争中の人々のくらしの変化や、戦争がくらしに大きな影響を与えたことをとらえることができる。	<知識・理解> ・戦争体験者からの聞き取りをおこない、戦争が人々のくらしに大きな影響を与えたことを十分に理解することができる。 <指導の手だて> ・インターネットや図書資料を利用し、さらに国民の生活を詳しく学習することで、より理解を深めるように指導したい。また、身近な地域の資料などを調べることで、より実感的にとらえさせるようにしたい。	<知識・理解> ・戦争が人々に与えた影響についてとらえることができていない。 <指導の手だて> ・戦争体験者の話を振り返ったり、戦争中の男性、女性、学生、子どものくらしや状況を振り返ったりすることにより、日本国民全体に大きな影響を与えていたことを理解させたい。
	空しゅうで焼きつくされる国土、戦場となった沖縄	◎アメリカ軍の反撃で、兵士だけでなく、国内の人々も戦争の被害にあったことをとらえることができる。	<知識・理解> ・空襲や沖縄での戦いなどを意欲的に調べ、当時の社会の様子を十分に理解することができる。 <指導の手だて> ・身近な地域の空襲のより詳しい被害の様子や疎開先での1日の様子などを調べることを通して、より深く戦時中の生活の様子を理解できるようにする。	<知識・理解> ・空襲や沖縄での戦いなどを十分に理解できないでいる。 <指導の手だて> ・地域にある空襲の様子を伝える遺跡や逸話を紹介したり、今の自分たちの食事と当時の子どもの食事を比較させたりして、できるだけ自分の生活と関連づけて関心を高めるように支援する。
	広島と長崎への原爆投下と日本の敗戦	◎原爆投下やソ連の参戦を調べることから、日本が降伏した経緯や、戦争が終わった理由について考えることができる。	<思考・判断・表現> ・日本の降伏までの経緯を十分理解し、戦争が終わったことに対して自分の考えをもつことができる。 <指導の手だて> ・戦争の学習全体を振り返り、さらに詳しく学習したいことを考え、インターネットなどを利用して調べるよう指導する。	<思考・判断・表現> ・日本が降伏した経緯や、戦争が終わった理由に対する自分の考えをもてないでいる。 <指導の手だて> ・今までの学習を振り返り、人々のくらしが大きく変わったこと、空襲や原爆によって多くの被害を受けたことなどを想起させたり、学習してきたノートを見直したりすることで、終わった理由を書き添えていくように声かけをおこなうようにする。
	たしかめよう	◎日本がおこした戦争を年表にまとめ、話し合うことにより、自分の考えを明確にしたり、深めたりすることができる。	<思考・判断・表現> ・戦争に対する自分の考えを十分に考え、表現できている。 <指導の手だて> ・戦後の日本の様子について予想させる。そして、自分が生きている現代に至るまで、人々のくらしがどのように変化していったのか、その経緯や原因を考えるように助言する。	<思考・判断・表現> ・戦争に対する自分の考えを書くことが十分にできていない。 <指導の手だて> ・視点を「子ども」という自分にとって身近なものから先に振り返るようにし、同年代の子どもが戦争によって受けた影響を自分に当てはめながら、戦争に対する自分の考えをもつことができようように支援する。

8 新しい日本のあゆみ

中単元の目標	小見出し	学習のねらい	評価基準と指導の手だて	
			十分満足できる子ども	努力を要する子ども
<p>○日本国憲法の制定や、オリンピックの開催などについて調べ、第二次世界大戦後、我が国は民主国家として出発し、国民生活が向上し、国際交流や国際貢献の面で重要な役割を果たしてきたことを理解できるようにする。</p> <p>○戦後、我が国が日本国憲法を制定し民主的な国家として出発したことや、国民の不断努力によって国民生活が豊かになり、国際社会において重要な役割を果たしてきたことに誇りをもち、今後の日本の役割について、自分なりの展望をもてるようにする。</p> <p>○戦後の改革や日本国憲法の制定、オリンピックの開催について、図書館や博物館、地域の高齢者に話を聞いたりするなどして調査するとともに、地図や地球儀、年表などの各種の基礎的資料を効果的に活用し、調べたことや考えたことを表現する力を育てる。</p>	中単元の導入	◎敗戦直後と現在の大阪の写真を手がかりに、戦後の人々の暮らしや社会の仕組みの変化についての学習問題を見出すとともに、学習計画を立てることができる。	<p><思考・判断・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> ・敗戦直後から現在への変化を十分にとらえている。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの戦後調べに取り組みせたい。衣・食・住・遊び・建物・道路の移り変わりについてテーマをもち、図書館で調べたり、聞き取り学習をおこなったりして、年表や紙芝居にまとめていきたい。 	<p><思考・判断・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> ・敗戦直後から現在への変化を十分にとらえることができないでいる。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活のなかでその子が興味のあることをあげさせ、追究への意欲を高めていくことが考えられる。 <p>例えば、昔の食べ物を調べ、実際につくって味わい、現在と比較することもできる。</p>
	敗戦直後の人々の暮らし	◎敗戦直後の学校や買い出し風景の写真を手がかりに、当時の人々の厳しい生活の様子について関心をもち、意欲的に追究することができる。	<p><関心・意欲・態度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・敗戦直後の人々の暮らしを意欲的に追究できている。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当時の生活の様子を自分なりの観点でまとめる活動に取り組みせたい。例えば「衣食住」の三つの観点や、「子どもの生活」という観点でまとめることによって、理解がより深まると考えられる。 	<p><関心・意欲・態度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・敗戦直後の人々の暮らしに対して関心が低い。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的なイメージをもつことができるように指導することが考えられる。例えば、『火垂るの墓』の絵本を取り上げ、そこに描かれた人々の暮らしを想像してみることをうながすなど、意欲をもって追究していけるように個別の指導・支援をする。
<p>中単元の評価規準</p> <p>【関心・意欲・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦後の我が国の様子や人々の働きと、暮らしの変化に関心をもち、国民の不断努力によって国民生活が豊かになり、国際社会においても重要な役割を果たしてきたことについて、意欲的に調べ、考えながら追究している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦後の我が国の様子から学習問題や予想、学習計画を考え表現し、調べたことをもとに、当時の人々が民主国家として、国際社会において重要な役割を果たしてきたことについて考え、調べたことや考えたことを適切に表現している。 <p>【観察・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真や地図その他の基礎的資料を効果的に活用して、戦後の我が国の様子を調べ、調べたことをノートや作品にまとめている。 <p>【知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦後の我が国は、民主的な国家として出発し、国際社会において重要な役割を果たしてきたことをとらえている。 	新しい国づくりがはじまる	◎戦後のさまざまな改革について調べ、日本政府が連合軍の指令のもとに民主化を進め、新しい社会をつくろうとした経緯をとらえることができる。	<p><知識・理解></p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦後のさまざまな改革について十分に理解できている。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書P.132「戦後のおもな改革」の八つについて、改革前後をまとめる活動に取り組みせたい。両者を比較することによって、改革が与えた影響の大きさに対する理解がより深まると考えられる。 	<p><知識・理解></p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦後のさまざまな改革の内容やねらいについての理解が低い。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・一つの改革にポイントを絞り、当事者の立場に立って具体的に意義をとらえるように指導したい。例えば、農地をもたない農民の生活と、農地をもったときの生活とを比べることによって、農地改革のよさが実感できるよう個別の指導・支援をしたい。

	小見出し	学習のねらい	評価基準と指導の手だて	
			十分満足できる子ども	努力を要する子ども
	新しい憲法と日本の独立	◎新しい憲法と独立の過程を調べ、新しい社会の仕組みのなかで、我が国が民主的な国家として再出発したことをとらえることができる。	<知識・理解> ・新しい憲法について十分に理解できている。 <指導の手だて> ・日本国憲法について、教科書P.132「戦後のおもな改革」とのかかわりでまとめたり、国際社会への復帰について、諸外国との関係や国際情勢をまとめたりすることで、多面的・複合的に戦後の日本をより理解できるようにしたい。	<知識・理解> ・新しい憲法について十分に理解できないでいる。 <指導の手だて> ・教科書P.134「あたらしい憲法のはなし」を読み返してみることによって、当時の人々の願いに気づいて、意欲をもって追究していけるように支援する。
	発展した日本の経済	◎戦後の経済成長について、グラフや写真などの資料を使って調べ、国民の不断の努力によって、我が国の経済が大きく発展したこと、その影響について考えることができる。	<思考・判断・表現> ・高度経済成長の影響について十分に考えることができている。 <指導の手だて> ・影響を単に箇条書きするだけでなく、より広い視野で考えるようにしたい。例えば、福祉・環境・外交などの観点に分けたり、さらにそれらの問題点を解決する見通しについて考えたりさせたい。	<思考・判断・表現> ・高度経済成長の影響について十分に考えることができている。 <指導の手だて> ・敗戦直後の航空写真や買い出し列車の写真を見せ、わずか20年で新幹線や高速道路ができた経済成長の大きさを実感できるようにしたい。また、吹き出しを使ったり、5年の教科書を提示したりして、多面的な考えを引き出したい。ほめながら自信をもたせたい。
	豊かになった人々の暮らし	◎家庭電化製品を中心に、戦後の暮らしの変化を調べ、国民の不断の努力により国民生活が豊かになったことを自分なりの言葉でまとめることができる。	<観察・技能> ・調べ活動を意欲的におこない、暮らしの変化とその影響について十分とらえることができている。 <指導の手だて> ・前時のように、豊かになった暮らしの一方で、考えていかなければならない課題についても考えるようにする。例えば、平均寿命の伸びにともなう高齢者への福祉の問題、自動車の増加にともなう環境の問題などに目を向けるようにしたい。	<観察・技能> ・戦後の暮らしの変化を調べ、国民生活が豊かになったことをとらえることができている。 <指導の手だて> ・教科書にある資料の一つを具体的に考えさせるようにしたい。例えば、洗濯板から電気洗濯機への変化によって、仕事の労力と時間の軽減や、電化される家や生活の様子の変化を想像して、豊かになったことを実感させたい。

	小見出し	学習のねらい	評価基準と指導の手だて	
			十分満足できる子ども	努力を要する子ども
	国際社会のなかの日本	◎戦後の国際関係を調べ、世界の主要国となった日本が国際社会で果たすべき役割についてとらえることができる。	<知識・理解> ・調べ活動を意欲的におこない、国際関係の深まりや、諸外国から日本の力が期待されていることを十分理解できている。 <指導の手だて> ・日本の課題について、どのようにして解決していけるのか、また、これからの日本のあり方について、自分の考えをまとめるように指導したい。	<知識・理解> ・国際関係の深まりや、諸外国から日本の力が期待されていることを理解することができないでいる。 <指導の手だて> ・調べる方法などの支援をするとともに、調べ学習の形態をグループにするなど、実態に応じて工夫をしたい。また、教師も事前に多くの資料を用意しておき、いくつかの資料を提示し、そのことを中心にまとめさせたい。
	たしかめよう	◎戦後の我が国のあゆみを図にまとめ話し合うことにより、我が国の役割について考え、自分の考えを明確にしたり、深めたりすることができる。	<思考・判断・表現> ・今後の日本の進み方について十分に考えて表現できている。 <指導の手だて> ・政治の仕組み・経済の仕組み・国際協力の仕組みなど、さらに詳しく学習していきたいことについて考えるようにすることで、下巻の学習につなげるようにしたい。	<思考・判断・表現> ・自分の思いや考えを書いたり述べたりすることが十分にできていない。 <指導の手だて> ・振り返りのノートをグループで書くなど、実態に応じて工夫したい。また、三つの視点を全て取り上げるのではなく、一つを選んで友だちの意見を参考に書くように助言したい。